

JAしまねびより

2018

1

January Vol.22

特集 島根のいいもの再発見!! 「松江市 キャベツ」 くにびき地区本部



Xaomichi

雪の松江城



謹んで新春の

お慶びと

申し上げます

新年あけましておめでとうござい
ます。

組合員のみなさまには、新しい年を穏
やかに迎えることとお慶び申し上げま
す。

おかげさまでJAしまねは統合後3回
目の新年を迎えることとなりました。

これもひとえに組合員のみなさまをは
じめ、地域のみなさまのご理解とご協力
の賜物と心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、「農業者の所
得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性
化」を最重要課題として、各事業や取り
組みにおける自己改革と統合メリットの

創出に取り組んでまいりました。

営農関係では農業振興支援事業、生産
資材の価格低減、米の買取制度をはじめ
販売対策強化、TAC（地域農業の担い
手に向くJA担当者）による営農情報
提供や記帳代行、認定農業者支援資金な
どの担い手支援に取り組み、また、地域
の活性化としては、業績還元の実施と地
域活動への活用、地域貢献・地域活性化
に取り組まれた団体の表彰と活動資金支
援、女性部活動や子育て支援、地域イベ
ントなどを通じ、地域全体での活性化に
取り組んでまいりました。

さて、本年は「第1次中期経営計画」

代表理事組合長 竹下 正幸

代表理事副組合長 山根 盛治

代表理事専務 高木 賢一

代表 監事 松浦 宗和

役職員一同

と「農業戦略実践3カ年計画」の最終年
度にあたります。計画に掲げています「持
続可能な農業の実現」や「豊かでくらし
やすい地域社会の実現」「地域に根差し
た協同組合の役割発揮」に向け、総仕上
げの年として、更に実践をすすめてまい
ります。

計画を完遂するためには、JA事業・
組織にかかる自己改革の実践が不可欠で
ありますが、「組合員のみなさまのお役
に立てているのか」「組合員のみなさま
から求められているサービスを提供でき
ているのか」「組合員のための改革で自
分は何ができるのか」を役職員一人ひと

りが真剣に向き合い常に考え、広い視野と新しい発想、そして改革していく意識を持つことが重要であり、そうした取り組みを一つ一つ実践に移していくことが自己改革であると思います。

組合員や地域住民のみなさまのご期待に応え、JAの健全経営と更なる事業改革・組織改革をすすめていくため、担い手農家をはじめ組合員のみなさまとの話し合いをより活発なものにし、忌憚のないご意見を聴かせていただき、みなさまの声を事業や取り組みに活かし、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」につながる自己改革の一つでも多く実践し、JAは変わったなと言ってもらえるよう取り組んでまいります。

今後も、みなさまから選ばれ、信頼され、ご利用いただけるJAに向けて、役員が一体となり取り組みを行ってまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

組合員・地域のみなさまにとって本年が幸多い一年でありますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成三十年一月

代表理事組合長 竹下 正幸

自己改革実践中

「自己改革の実現」を発行しました

JAしまねでは、統合時より統合メリツトの発揮に併せて自己改革の実現に取り組んでいます。その実践状況についてみなさまにお知らせするため、取り組み状況をまとめた冊子「自己改革の実現」を昨年7月に発行致しました。

正組合員のみなさまのお宅を中心に配布させていただきますが、支店窓口にも冊子を備え置かせていますので、是非ご覧いただけますようお願い致します。
(冊子の内容は当JAのホームページにも掲載しています)



みなさまのご意見・ご要望を聞かせください

担い手の方が参加される集会や認定農業者の方のご自宅等に当組合の役員がお伺いし、JAへのご意見やご要望をお聴きする機会を昨年11月より順次、増やしています。協同組合は組合員のみなさまが主役で

す。組合員のみなさまからいただいた意見を事業運営につなげるよう、これまで以上に努力して参りますので、ぜひとも忌憚のないご意見をお願い致します。

自己改革に関する調査(アンケート)へのご協力をお願いします

JAしまねでは、現在取り組んでいる自己改革の内容についてみなさまのご意見をお伺いしたく、3月に自己改革に関する調査(アンケート)を実施させていただきました。今回の調査は、無作為で選ばせていただいた方に回答をお願いする予定です。対象となった組合員のみなさまにおかれては、ご多用のところ誠に恐縮ですが、ご協力いただきますようお願い致します。

JAしまねでは、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業やくらしを支えるJAとなるよう、今後アンケートの実施や集会等を通して、みなさまの声を聴き取る機会を増やして参ります。引き続きJAの事業、活動へのご理解、ご協力を何卒お願い致します。

※12月に郵送で実施させていただいた「組合員アンケート」とは別のアンケートです。本アンケートは、3月に職員の見聞により実施させていただきます。



島根には誇れる農産品がたーつくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【松江市 キャベツ】

1月は、くにびき地区本部。松江市東出雲町で、新規就農し、キャベツを栽培する高松和範さん、JALしまね中海干拓事業所の小室陽二所長のお二人にお話しをお伺いしてきました。



高松和範さん

新規就農したきっかけを教えてください。

高松さん 大学を卒業しNPO法人で働いている時、農業に接する機会がありました。

広大な土地でたくさん野菜を生産するのに魅かれ、転職を決意。JAさんと松江市が行っていた「だんだん営農塾」に参加し、東出雲町の中海干拓地で盛んに生産されている、通称「くにびきキャベツ」の栽培をはじめることになりました。地元の農業者の野津一修さん・松田純一さんに師事し、研修と並行して2年間、現場で経験を積みながら学びました。その後独立し、今年で4年目になります。7〜9月頃に苗を定植して、収穫はおもに10月から翌年6月頃まで行っています。1年目



真剣な眼差しが、高松さんの熱い想いを物語っていました

は1・8ヘクタールの面積で生産を始め、現在は3ヘクタールまで栽培面積を増やしています。

くにびきキャベツとはどのようなものですか？

小室さん 松江地区でのキャベツ栽培はほとんど、この中海干拓地の掛屋工区で栽培されています。全体の作付面積は約37ヘクタールで、2016年は秋の長雨等の影響もあり、例年より少ない、730トン出荷しました。年間の目標出荷量は、多い時の実績と同じ、1,000トン以上を目標にしています。営農当初は栽培面積を拡大しても生育が不安定な時もありま



広大な農地で栽培されるくにびきキャベツはこれから最盛期を迎える



中海干拓事業所にある集荷場から市場へ



した。そのため、定植後の生育にに応じて作型ごとの農薬散布を行う設定になっていた防除暦を、秋冬キャベツの全作型・全品種で一度に防除できるように「一斉防除方式」に改めました。適期に一斉防除のある薬剤によって一斉防除するので、結果的に防除回数も減少。害虫防除を効果的に防ぐことができるようになりました。また、高い安全性と

優れた品質を兼ね備えた産品を認定する「美味しまね認証」を生産者全員が取得。大阪を中心に出荷していますが、品質にこだわった結果、おかげさまで関西を中心に「島根キャベツ」ブランドとして高い評価をいただいています。

干拓地での営農開始から約30年が経過していますが、何か課題はありますか？

小室さん 地区管内全体の農地と同様に、営農者の高齢化等の要因もあり、作付休閑地が依然として見受けられます。松江・八束くにびきキャベツ部会の会員は現在46人、平均年齢はざっと65歳です。そこで松江市と共同で新規就農者の確保に取り組んでおり、後継者育成のための今年で6期目となる「だんだん営農塾」事業を行っています。卒業生である高松さんのような若い30代前後の新規就農者が面積拡大を図っているの、なんとか現状を維持しているところ。高松さんのような新規就農者が増えて欲しいと、努力を続けているところです。



「雪が降ろうが!」という高松さんのような存在が心強い

就農された感想と今後の抱負を聞かせてください。

高松さん 広大な畑で、専用包丁を使って1個1個、手作業でキャベツの根元を切り落とし収穫します。何千、何万个とあり、ひたすら同じ作業を続けなければなりません。

松江市 キャベツ 一口メモ

中海干拓事業は昭和38年から行われ、旧八束郡東出雲町と松江市意宇町からなる揖屋工区は平成元年度に完了した。地区面積は323ヘクタールで、そのうち農地面積は202ヘクタール。栽培品目で規模が大きいものは、牧草約38ヘクタール、キャベツ約37ヘクタール、津田かぶ約9ヘクタールとなっている。このほか、作付け準備状態のほ場が約20ヘクタール、作付け休閑状態のほ場は約34ヘクタールあり、地区内農地の30パーセント弱で、担い手が不足している状態。高松さんのような新規就農者を増やす努力をJAしまねや行政が一丸となって続けている。年間を通じて美味しいキャベツ作りにこだわっており、適度に歯ごたえがあって、みずみずしさに優れた干拓地のキャベツが「島根キャベツ」として関西を中心に高い評価を得ている。

また、「くにびきキャベツ」は「美味しまね認証」を取得していることにより2020年オリンピックで使用することも可能な野菜である。



出荷のピークを迎え、規模拡大を念頭にした高松さんの毎日の戦いが続く



作業自体は単調な仕事ですが、農業をするのが好きなので、単調な仕事でも頑張っています。

いけます。また、周りにキャベツを作っている人がたくさんいるので、困った時には相談できるのが、新規就農をするにあたって心強く感じました。研修時代に大変お世話になった師匠の栽培規模は、はるかに大きい。当面は現状の面積を維持しながら、機会を見て規模を拡大し、いつの日か師匠に追いつければと思います。

雲南

ブランド米振興大会 生産者ら意欲高める

雲南市水田農業担い手協議会が主催する「平成29年度雲南市ブランド米振興大会」が12月6日、同市木次町のチェリヴァホールで開かれ、生産者や関係者ら約70人が参加。つや姫生産の研修や優良生産者の表彰を行いました。

平成29年度優良生産者表彰では、田中政明さん（大東町）と農事組合法人春石（大東町）が選ばれ、さらに田中さんは雲南市長杯を、農事組合法人春石は、JAしまね雲南地区本部長杯を受賞しました。

平成28年産米からブランド米として取り組みを始めた雲南市プレミアムつや姫「たたら焔米」は、一定の要件を満たしたワンランク上のつや姫として、市とJAが認定したお米。

作付面積や生産者も増えた中で2年目を迎え、同協議会の渡部彰夫会長は「雲南市のブランド米が全国に広まるよう、皆様方と苦難を乗り越え取り組んでいきたい」と話しました。



左から速水市長、田中さん、渡部会長、農事組合法人春石、加藤本部長

くにびき

くにびき女子大 玄丹そばでそば打ち

くにびきサンサン女子大は12月2日、教育文化センターSan・san館で、松江市特産の「玄丹そば」を使ったそば打ち体験講座を開催しました。32人の学生が参加し、玄丹そばのおいしさを体感しました。



当日は、地元のそば打ち名人・細田純夫さん（松江市玉湯町）を講師に招き、そば打ちに挑戦。細田さんから「水加減に注意してこねて」「円盤状に広げながらのぼすように」などと実演つきのアドバイスを受けながら、真剣な表情でそばを打ちました。

講座終盤には、細田さんによる打ちたてのそばを全員で試食。「普段食べているそばより香りがよくておいしかった。自分で打ったそばを家で食べるのが楽しみ」などと感想を話しました。



そばをこねる学生

隠岐

来店感謝デーを実施

隠岐地区本部は12月15日、管内4か所の支店窓口で、日頃のご愛顧に対する感謝をこめて、「隠岐地区本部 来店感謝デー」を開催しました。イベントの開催にあたって、事前にチラシ配布を各支店窓口等で行い、当日には通常来店人数の2倍近くのたくさんの利用者の方にご来店いただきました。

ご来店いただいた方にはクジ引きをしていただき、「冬の風邪予防対策」をコンセプトとした「加湿器」「自動ハンドソープ機」など関連グッズのプレゼントをしました。来店者からは「いつも楽しみにしているよ」「来てよかったわ」など言っていました。



やすぎ

やすぎのエコ白ネギをアピール

やすぎ白ネギ部会は12月2日、雲南市のみしまや三刀屋店で安来のエコ白ネギの販売イベントを行いました。エコ白ネギは、通常の栽培に比べて化学肥料を県基準の半分にまで栽培しており、環境に優しいのが特徴で、今回のイベントでは100束を販売しました。

また美味しいエコ白ネギを実際に味わってもらおうと、エコ白ネギを50本使用した白ネギ豚汁を無料配布し美味しさをアピールしました。試食した方は「ネギが甘くてすごく美味しい!買って帰るわ!」と好評でした。同部会の山本進部会長は「今後もイベントなどを通じて、安来のエコ白ネギをアピールしていきたい」と意気込みを語りました。



新鮮なエコ白ネギ



販売、試食の様子

斐川

あぐり探検隊 餅つき・そば打ちを体験

斐川地区本部は12月10日、斐川営農総合センターで、農業体験活動「第5回あぐり探検隊」を開きました。今回の活動では、餅つきとそば打ち体験を行いました。

餅つきでは、隊員が田植え、稲刈りを自ら行ったもち米を使用。事務局とJA斐川女性部の指導により、臼と杵を使って餅つきを行い、隊員たちは楽しそうに力強く杵を振り下ろしていました。

そば打ちでは、荘原地区の高橋義孝さんと糸賀充さんの指導の下、斐川産のそば粉を使用し、隊員たちは真剣にそば打ちを体験しました。

JAでは次年度以降もあぐり探検隊などの活動を通して子どもたちに食と農について学ぶ機会を提供していきます。



隠岐
どうぜん

隠岐島前農政会議が発足

隠岐島前農政会議は11月20日、海士町マリンポートホテルで設立総会を開きました。隠岐どうぜん地区本部が中心となり設立に向けて準備を進め、同日発足しました。

発足式の冒頭で新谷徳昭本部長が設立趣意書を読み上げ、農業者の自主自立な組織として、JAグループと連携して農業・農村の振興を図り、一致団結して相互研鑽と情報の共有など、県内および全国の仲間とともに農政運動を展開していくことを確認しました。

当日は島根県農政会議の石倉茂美会長を来賓に招き、祝辞をいただきました。石倉会長は、当地区本部での発足により島根県全域で農政会議が組織されたことを喜びとともに、その意義について話しました。

総会では同会議の規約の他、活動計画や収支予算案などが承認され、会長に西ノ島町の口村光房さん、副会長に知夫村の向濱樽幸さんが選任されました。また、委員2人、監事2人が初代役員として選出されました。



選出された初代役員（左から、口村会長、南敬二監事、板谷栄一委員、村上良夫監事、美濃芳樹委員）

石見銀山

オリジナルカレンダー完成

石見銀山地区本部は12月20日、オリジナルカレンダーを発行し、JA職員が「ふれあいの日」に、管内組合員宅へ配布しました。同地区本部オリジナルカレンダーは、毎年発行しています。

2018年版は、大田市仁摩町の「琴ヶ浜」がテーマ。今年の10月13日に、国の天然記念物に指定告示されたことを記念して制作しました。琴ヶ浜海岸の他、江戸時代から現在まで受け継がれている同町宅野地区の「宅野子ども神楽」や世界最大の砂時計「砂暦」が設置されている「仁摩サンドミュージアム」、左官職人が民家や土蔵の壁に漆喰を使って施した造形物「鏝絵」など同町の伝統文化や名所の写真が各月を飾ります。

地元写真家や市、県の観光協会などの協力を得ながら完成しました。



琴ヶ浜が表紙を飾るJAオリジナルカレンダー

出雲

JAしまね出雲しいたけ部会 年末講習会開催

JAしまね出雲しいたけ部会は12月5日、島根ワイナリーで年末講習会を開催しました。部会員、行政関係者、JA役職員ら約53人が出席。市場情勢や今年の出荷状況を確認したほか、年末に需要のピークを迎えるにあたって、株式会社北研から講師を招き、水管理や温度管理など栽培方法について講習を受けました。

同部会の栽培する菌床生しいたけ「神々の国 出雲しいたけ」は肉厚で市場からの人気も高く、当日出席した各市場関係者は「年末の需要期にたくさん出荷してもらいたい」と要請しました。

同部会では、島根県独自のGAP制度「美味しまね認証」の取得に部員一丸となって取り組んでおり、11月には島根県・JAの担当者らが部会員65戸を巡回し現場改善を行うなど、同認証の団体取得に向け大詰めを迎えています。同部会の三島茂部会長は「競争も激しい中、認証取得で安全・安心をPRできることは大きな強みになります。一人も乗り遅れることなく、『美味しまね認証』の列車に乗ってもらいたい」と呼びかけました。



認証取得に向け気運を高める三島部会長

西いわみ

農業青年クラブが「わんぱくらんど」収穫祭を開催

津和野町農業青年クラブ（会長石橋康邦）は12月8日、同町後田の津和野町町民センターで「わんぱくらんど」の収穫祭を開きました。

田植えや稲刈りなどの農作業を通して、農業に親んでもらい食べ物の大切さを学んでもらおうと平成9年から始めた「わんぱくらんど」は今年が21回目となります。

当日は、同町田二穂地区の水田で園児らが春に植え、秋に刈り取ったもち米「ヤシロモチ」を使い餅つきをして収穫を祝いました。



島根おおち

ドライブレコーダーで安心・安全に貢献

島根おおち地区本部は12月13日、管内の安心・安全に寄与することを目的として、公用車に設置したドライブレコーダー等の記録データを提供するための協定を川本警察署と締結しました。

協定締結式は川本警察署で行われ、生活安全刑事課の足立大樹課長が協定内容の説明をした後、同署の坂根英明署長と同地区本部の日高光弘本部長が協定書へ署名調印しました。

同地区本部では、社会貢献や役職員の交通安全に対する意識の向上を目的として、公用車にドライブレコーダーを設置しました。公用車は約120台あり、12月から順次設置して今年度は50台に設置しました。残りの公用車については、来年度以降に計画的に設置していく予定です。

今後、ドライブレコーダー等の記録データを捜査情報等として提供することで交通事故の抑止、事件事故の捜査活動、災害に対する危機管理等に活用し、管内地域住民の生活の安全、安心に寄与することを目指していきます。



本店

第19回島根県家の光大会を開催

JALまねとJALまね女性部は12月6日、出雲市のラピタウェディングパレスで第19回県家の光大会ならびにJALまね女性部研修会を開き、家の光愛読者や女性部員など約170人が参加しました。

くにびき、雲南、出雲の各地区本部の愛読者による記事活用体験発表では、「輝く～私たちのえんまん座～」と題して、『家の光』への掲載をきっかけにメンバー拡大などに取組んだことを発表した出雲地区本部の飯國恵美子さんが最優秀賞に選ばれました。飯國さんは来年2月に横浜で開催される全国家の光大会に県代表として出場します。

また、研修会では、NPO法人コミュニティスクール・まちデザインの近藤恵津子理事長が「食の安心・安全について～食品添加物と表示について～」と題して講演しました。



表彰状を受ける飯國さん（右）と、表彰状を読み上げるJALまね山根盛治副組合長

いわみ中央

消費者交流会 冬野菜を使ってキムチ作りを学ぶ

いわみ中央地区本部は浜田市黒川町のふれあいホールで12月5日、浜田市と共催で産直交流会を開き、市内から29人が参加しました。

講師に浜田市弥栄町在住の朴銀環さんをお招きし、旬の野菜である地元産の白菜、大根を使った白菜キムチ、大根キムチ作りの実演を交えた講義を行いました。実演では、白菜の塩漬の行程や大根を均等に切る方法など、事前準備の大切さなどの説明を受けました。

参加者は、「説明がとても丁寧で分かり易くて良かった。次回もこのような講習会が開催されれば是非参加したい」と話しました。



白菜キムチ



大根キムチ

平成29年度 西部地区子牛共進会を開催



10月27日に西部家畜市場で開催し、西部地区（いわみ中央地区本部・西いわみ地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛16頭の出品がありました。

当日は秋晴れの中、審査員の厳密な審査により、最優秀賞には、益田市「田原 正太」さん出品牛「はな2号」が選ばれました。

審査風景



個体審査

比較審査

●西部地区子牛共進会授賞目録

区分	番号	住所	氏名	区分	番号	住所	氏名	
最優秀賞	9	益田市	田原 正太	首席	1	益田市	伊藤 宣男	
優秀賞	15	益田市	佐々木恵美	優良賞	4	津和野町	石川 公芳	
	13	益田市	田原 武吉		6	浜田市	長田 長正	
	3	浜田市	佐々木祥二		7	益田市	河野 将樹	
	16	津和野町	京村 真光		8	益田市	南中島ファーム	
	11	浜田市	藤本 邦弘		12	益田市	橋本 政喜	
	10	浜田市	佐々木祥二		14	津和野町	京村 真光	
	2	浜田市	樋口 誠二					
	5	益田市	澤江 寛美					

平成29年度 島根中央子牛共進会を開催



11月10日に島根中央家畜市場で開催し、東部地域（くにびき地区本部・やすぎ地区本部・雲南地区本部・斐川地区本部・出雲地区本部管内）から選抜された肉用雌子牛40頭の出品がありました。

今年度は、秋晴れの下、皆様のご協力もあり全課程を野外審査場で行うことができました。

成績につきましては、各区の優秀賞首席に1区 奥出雲町「佐藤 治巳」さん出品牛「かつざくら号」、2区 安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が授賞され、グランドチャンピオンには、2区、安来市「田辺 和正」さん出品牛「ふくめぐみ号」が選ばれました。

各受賞結果は右記のとおりです。

審査風景



●島根中央子牛共進会授賞目録

	出品№	第1区			第2区		
		住所	氏名	出品№	住所	氏名	
島根県農業協同組合長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	
	(各区:4席) 6	奥出雲町	勝田 律江	34	奥出雲町	松浦 雅子	
	(各区:5席) 17	出雲市	杉山 利夫	38	雲南市	高島 幹雄	
島根県知事賞	グランドチャンピオン			31	安来市	田辺 和正	
島根県家畜商組合理事長賞	グランドチャンピオン			31	安来市	田辺 和正	
島根県家畜人工授精師協会会長賞	グランドチャンピオン			31	安来市	田辺 和正	
全国和牛登録協会島根県支部長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県畜産振興協会会長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
J A西日本くみあい飼料株式会社社長賞	(各区:首席) 16	奥出雲町	佐藤 治巳	31	安来市	田辺 和正	
島根県農業共済組合連合会長賞	(各区:次席) 19	安来市	細田 好二	26	奥出雲町	新宮 茂	
島根県獣医師会長賞	(各区:3席) 20	飯南町	後長 信弘	32	雲南市	渡部 学	

支店窓口（金融共済等）の営業開始時間変更について（お知らせ）

支店窓口（金融共済等）の営業時間

平成30年3月30日まで

午前8時30分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なります）



平成30年4月2日より

午前8時45分～午後3時00分
（一部支店で開店・閉店時間が異なりますので、ご利用の支店のお知らせを御覧ください）

支店窓口（金融共済等）の営業時間開始につきまして、上記のとおり変更させていただきます。組合員・利用者の皆様にはご不便をお掛けしますが、今後とも一層のサービス向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

両替手数料改定のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

平成30年4月2日から、**両替手数料を改定**させていただきます。今後とも、当JAでは、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

◎両替手数料（改定後）

お取扱枚数	窓口手数料（消費税込）
1～49枚	無料
50～500枚	324円
501～1,000枚	648円
1,001～1,500枚	972円
以降500枚ごと	324円加算

◇有料となる両替には、新札への両替、現金のお引き出しの際に、新札および金種をご指定される場合を含みます。
◇お取扱枚数は、ご持参（両替前）の枚数、お持ち帰り（両替後）の枚数のいずれか多い枚数が基準となります。
◇大量の硬貨により貯金をご入金される場合には、両替手数料をいただきます。
◇両替・金種指定払出・大量硬貨入金のうち、複数種類の取引をされる場合は、いずれか枚数の多い取引で手数料をいただきます。
◇同種類の取引を複数される場合は、合計枚数の手数料をいただきます。
◇汚損現金・記念硬貨の交換は無料です。

平成30年新しい年を 迎えるに当たってのご挨拶



JAしまね西いわみ地区本部
常務理事本部長 田村 清己

新年明けましておめでとうございます。

組合員および皆さま方におかれましては、健やかに輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

「光陰矢のごとし」という諺のとおりこの一年が走馬灯のようにめぐりますが、皆さま方には平素より当組合の管農経済事業や信用共済事業、健康福祉事業など、全般にわたり陰に陽に格別のご支援ご協力を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと3月には、日原わさび生産組合50周年記念大会、7月には日原タラの芽生産組合30周年記念大会、10月には農事組合法人おくがの村30周年記念大会など、先達が築いてきた節目の年となり改めまして諸先輩方のご努力に敬意を表する次第でございます。

事業面ではJAしまね西いわみ管内のメロン、ぶどう、トマト等特産の園芸品目や畜産等につきまして、夏場の

異常ともいえる猛暑などを乗り越え、生産者のご努力や栽培管理・肥育管理の徹底により品質数量とも確保され、昨年を上回って初期の販売計画金額を達成することができました。

平成28年度に引き続き総額4億円を農業振興支援事業に投じ、魅力ある産地づくり、元気な地域づくり支援や、島根農業生き生きプランなどに支援を展開するとともに、平成29年産主食用米についても買い取り制度2年目を迎え、買い取時の支払いに合わせ12月に追加払いを実施し、より早い資金対応を行ったところであります。

政策面では平成28年4月1日に改正農協法が施行され、農協は農産物販売等を積極的に行つて農業者にメリットを出させるため、理事の過半数を原則として認定農業者や農産物販売等のプロとすることを求める規定が置かれ、農協は農業者の所得増大を目的とし、的確な事業活動で利益を上げて農業者等への還元に充てるため、経営目的を明確化することとされました。

農協法改正を受け、農業者がJAを利用することでメリットを受けるための組織として組合員と徹底した話し合いが求められ、自己改革の取組やビジョンについて説明を行い意見要望等聞き取るなど、認定農業者や営農法人等の地域の担い手の皆様と話し合いを行つていくところでございます。

現在、農業、農村そして我々JAグループも厳しい試練の時を迎えており、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則（自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等）に基づき行動することとし、農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化の三本柱を創造的自己改革として「魅力増す農業展開」を掲げ、生産物の価格を1円でも高く販売し、農業資材の価格を1円でも安く提供していくという基本に立ち、自己改革を着実に実践してまいります。

また、当地区の基幹作物である平成30年産米の生産について、地域農業再生協議会別の生産数量で「目標」

に変わる「目安」が示され、益田市が3,491トン（365トン減）、津和野町が1,934トン（13トン増）、吉賀町が2,296トン（196トン増）となり、この生産調整廃止と同時に10アール当たり7,500円の直接支払交付金が廃止されます。全国的に厳しい対応が迫られており、全国の動向を注視し十分な議論を踏まえ取り組んでまいります。

迎えた本年は、「JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画」最終年度として、組合員から「JAはなくてはならない必要な組織」として評価を頂けますよう、役員一丸となつて一生懸命職務に邁進してまいりますので、皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり組合員および皆さま方の今年一年のご活躍とご健勝をお祈り申し上げ、新しい年のご挨拶いたします。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



「第39回みどりをまもる小学生作文コンクール」受賞者決まる

J Aしまね女性部（部長長島千代子）主催の第39回みどりをまもる小学生作文コンクールにおいて、西いわみ地区本部管内で3校6名の応募があり、その内2名の児童がみごとJ Aしまね女性部長賞を受賞されました。

同コンクールは、児童が自然、環境、農業、食料、地域行事などに関心を抱くことを狙いとして昭和54年から始まり、今年度は県内31校88名の児童から応募がありました。

J Aしまね女性部長賞 「じいちゃんとのやくそく」

吉賀町立六日市小学校 5年生 佐々木順悠さん

じいちゃんとのやくそく
六日市小学校 五年生 佐々木 順悠
ぼくは、休みの日にじいちゃん、おばあちゃんの家へよく遊びに行きます。川や田んぼ、山や野山が大好きです。じいちゃん、おばあちゃんに「じいちゃん、おばあちゃん、お茶を淹れてください」といって、お茶を淹れてもらいます。お茶を淹れてもらって飲むのは、じいちゃん、おばあちゃんとの約束です。お茶を淹れてもらうのは、じいちゃん、おばあちゃんとの約束です。お茶を淹れてもらうのは、じいちゃん、おばあちゃんとの約束です。



J Aしまね女性部長賞 「すごいぞ、お茶のパワー」

吉賀町立六日市小学校 3年生 佐々木順脩さん

すごいぞ、お茶のパワー
六日市小学校 三年生 佐々木 順脩
ぼくは毎朝お茶を淹れて飲むのが大好きです。お茶にはお茶のパワーがあります。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。

すごいぞ、お茶のパワー
六日市小学校 三年生 佐々木 順脩
ぼくは毎朝お茶を淹れて飲むのが大好きです。お茶にはお茶のパワーがあります。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。

すごいぞ、お茶のパワー
六日市小学校 三年生 佐々木 順脩
ぼくは毎朝お茶を淹れて飲むのが大好きです。お茶にはお茶のパワーがあります。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。

すごいぞ、お茶のパワー
六日市小学校 三年生 佐々木 順脩
ぼくは毎朝お茶を淹れて飲むのが大好きです。お茶にはお茶のパワーがあります。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。お茶を淹れて飲むのは、お茶のパワーをいただくことです。



六日市小5年生 佐々木順悠さん



六日市小3年生 佐々木順脩さん





西いわみ地区本部 家の光運動会開催

西いわみ地区本部（本部長 田村清己）は12月2日、津和野町日原の日原体育館で「家の光運動会」を開催しました。役員と家の光購読者の親睦を深めようと企画されたもので、2年ぶり2回目の開催となりました。

当日は家の光購読者や役員員の他に、JA女性部、理事、地区運営委員合わせて約200名が参加。「ムカデじゃんけん」や「綱引き」、縄なわい競争などを取り入れた「障害物リレー」、ゴール前で待っている家の光購読者に家の光を配達する「JA職員による家の光配達リレー」などの競技がおこなわれました。

本大会実行委員長の同JA地区本部山根哲朗理事はあいさつで、「購読者と役員が触れ合える貴重な機会。ケガに注意して日頃の運動不足を解消してほしい」と話しました。

また、家の光記事活用作品の展示、JA職員よりぜひがいが参加者に振る舞われま





女性部料理教室開催

JAしまね西いわみ女性部の各ブロックで料理教室を開きました。

12月4日に津和野ブロック（ブロック長渡邊佐代子）が、9日には下本郷ブロック（ブロック長小方美津子）が、12日には美都ブロック（ブロック長元岡タツ子）が、16日には六日市ブロック（ブロック長森元ミサ子）が管理栄養士の大畑美里氏を講師に招き、揚げれんこん、鶏胸肉の甘酢和え、かぶのクリームシチュー、甘辛煮等、旬の野菜を使っておせち料理6品を作りました。

また、8日に柿木ブロック（ブロック長斎藤ヒサエ）と、13日に鎌手ブロック（ブロック長野村啓子）がクリスマス料理教室を開催。イチゴのスコップケーキなどを作り、楽しいひと時を過ごしました。



JA女子大西いわみ校5期生の入学式



5期生のみなさん



蔵本知宏住職の講義を聴きました

12月15日にJA女子大学西いわみ校の入学式を執り行い、第5期の新生を迎え入れました。

管内の益田市、津和野町から入学を希望した20歳代から60歳代の女性14名が同女子大5期生として入学しました。

式典では、学長の西いわみ地区本部田村清己本部長と副学長のJA女性部和田悦子部長が歓迎のあいさつを行いました。

JA女子大学西いわみ校は平成21年に開校、2年間のカリキュラムを組み2ヶ月に1回の講義を行います。

農業体験や料理教室、趣味の講座などを通じて健康で豊かな自立した女性を目指すとともに農業へ興味やJAへの関心を高めてもらおうと実施します。

入学後の第1回講義では、講師に益田市幸町の妙法寺、蔵本知宏住職を招き、「本当の幸せとは」と題した講演を受講しました。

フレッシュミズ部会「親子おせち料理教室」を開催

JAしまね西いわみ女性部フレッシュミズ部会（部会長藤井泰余）は12月17日、益田市高津町の高津地区振興センターで親子おせち料理教室を開きました。

今回は、管理栄養士の大畑美里先生を講師に招き、「家庭でも手軽にできるおせち料理」をテーマに6品のおせち料理に挑戦。部会員とその子供あわせて25名が参加し、一生懸命調理を行いました。

参加者は「子供と一緒に料理が出来るととても楽しかった」と感想を話しました。





益田市農政会議西益田支部 支部総会と視察研修を実施

益田市農政会議西益田支部（支部長猪木良一）は11月30日、支部総会に併せ視察研修を実施しました。

視察研修では、山口県周南市のアサヒミネラル工業熊毛物流センターで、土づくり肥料の活用例をスライドで研修し、その後山口県岩国市の山口工場で、原料から製品になる過程の説明をうけました。

参加者26名は今後自分の圃場での土づくりのために、熱心に研修を受けられました。



匹見町で 「とちの実交流会」開催



会員から皮むきを教わる児童

益田市匹見町石谷の旧石谷小学校体育館で12月5日、小学生と地域住民が同地区の山で採れる「とちの実」を使った餅作り体験会で交流を深めました。

地元匹見下公民館が主催する「とちの実交流会」は、ふるさと学習の一環としてとちの実の加工技術の伝承と世代間交流を目的に始めたもので、今回で18回目をむかえます。

同地区で活動する加工グループ「内谷とちの実会」の会員が講師役となり、同町小学校3年生、4年生児童6名に餅作りを指導しました。

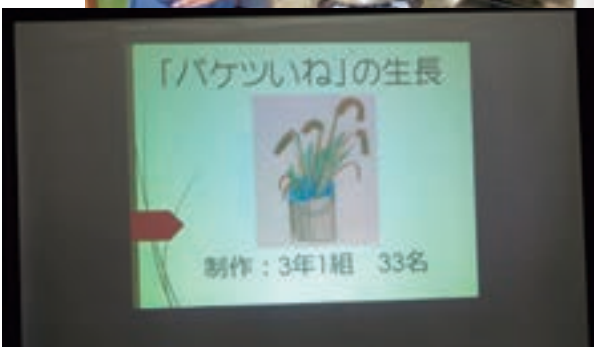
内谷とちの実会の代表として村上巴さんが「とち餅をついてたくさん食べて子供たちには独特の味わいを感じてほしい」と話されました。

小学校でバケツ稲授業 収穫祭を開催

平成29年度バケツ稲づくりに取り組んだ児童が最後の授業として収穫祭を行いました。

収穫したお米をつかって、11月28日は益田市吉田南小学校の5年生41名が保護者と一緒にお弁当作りを、12月6日には益田市立益田小学校の3年生67名がおにぎり作り、全員で味わいました。お弁当やおにぎりは、講師役の地域生産者やJA支店長、営農経済部担当者にもふるまわれました。

益田小学校では、班ごとに分かれた児童らが調べたお米に関する事柄をクイズ形式で発表し、お米に対する理解を深めました。





J A女性部との 意見交換会開催

J Aしまね西いわみ女性部(部長和田悦子)は12月20日、益田市駅前町の西いわみ地区本部でJ A職員との意見交換会を開きました。当日は、女性部から17名、J Aから役員と各部、支店長ら合わせて18名が出席し、グループディスカッション形式で行われました。参加した女性部員は「J Aがあるから女性部活動ができる」と心強い意見を頂き、J A職員からも「女性部から元気をもらっている。すばらしいアイデアの数々は参考になる」と話し、J A女性部とJ Aの必要性をあらためてお互いに再認識することができる貴重な意見交換会となりました。



ぶどう部会総会を開催



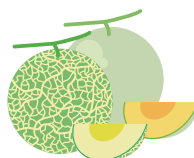
J Aしまね西いわみぶどう部会(部長福原博)は11月28日、益田市駅前町のJ Aしまね西いわみ地区本部で、第19回となる通常総会を開きました。

総会では、活動報告の中でJ A本店主催の栽培園地コンクール入賞者の披露、初めての取り組みとしてJ A地区本部表彰を行いました。同部会検査部が、年間を通じて栽培技術や品質向上に励む姿勢、出荷物を評価しJ Aに推薦するもので、今回は益田市戸田町の岩崎崇司さんが奨励賞を受賞されました。

また、役員改選が行われ、部会長に岩本和雄さん、副部会長に大場耕造さんがそれぞれ就任されました。

メロン出荷反省会を開催

J Aしまね益田メロン部会(部会長松本哲夫)は12月14日、益田市駅前町のJ Aしまね西いわみ地区本部で平成29年産メロン出荷反省会を開きました。今年度は年間111,935ケースを出荷し、約3億2,000万円の販売金額となりました。また、優績者表彰も行われ、夏作反収の部では飯田上支部の渋谷記幸さん、秋作反収の部では芝田支部の松本貴之さんが表彰されました。松本部会長は「生産者のみなさんの頑張りで、目標の販売金額を上回ることができました。来年度もいい成績を維持していきたい」と話しました。



夏作反収の部優績者 渋谷記幸さん



秋作反収の部優績者 松本貴之さん



津和野支店がS-L乗客に 新米をプレゼント

J Aしまね津和野支店（支店長中村力）は12月23日、春に作成した田んぼアートの水田で収穫した新米きぬむすめを、J R津和野駅でS-Lの乗客に配りました。

田んぼアートは、平成25年の夏の豪雨災害で不通となったJ R山口線の早期復旧と被災地の復興を願って企画し、S-Lの姿を田んぼに描いたものです。

当日は、同支店職員6名が新米250gと写真

真やパンフレットを袋詰めしたものを240セット用意しました。

同支店中村力支店長は「みなさんによるこんでいただけでよかった。津和野のお米を味わってもらいたい」と話しました。

匹見支店が創業祭を開催



J Aしまね西いわみ地区本部匹見支店（支店長片廻篤志）は、12月5日、6日の両日、同支店敷地内で創業祭を開催しました。

この創業祭はめいぶる店舗が開店以来毎年12月の行事として行っているもので、当日は店舗商品の特売、匹見S Sのガソリン値引き、地元産道川れんこんや牛肉の特売を実施。時折雪の降る中たくさんのお客様にご来店いただきました。

来場者にはとちの実会のお餅のプレゼント、J A女性部による豚汁とおにぎりがるまわりました。

J A女性部匹見ブロック 生活研修を開催



J Aしまね西いわみ女性部匹見ブロック（ブロック長粉田幸枝）は12月8日、浜田市三隅町の石州和紙会館で手すき和紙体験研修を行いました。当日は11名の部員が参加し、楽しそうに和紙を作っていました。参加した部員は「匹見は、紙祖」という地名があるぐらい、昔は和紙を作っていた。和紙体験はとても懐かしく、楽しかった」と話されました。





謹賀新年

本年も皆様にご満足して頂けるよう
全力を尽くしてまいります。



益田グリーンセンターおすすめ商品

大型割干し器

7,800円(税込)



大型切干し器

6,800円(税込)



かきもち切り器

7,800円(税込)



のしもち切り器

9,800円(税込)



セイロ

ステンレス製

13,700円(税込)



アルミ製

8,500円(税込)



ドライフルーツ
メーカー

7,800円(税込)



小さな
豆乳工場

13,800円(税込)



タイガーもちつき機

1升用 23,800円(税込)
2升用 21,800円(税込)
3升用 (つき専用) 19,800円(税込)



タイガー餅切り
まる餅くん

6,980円(税込)



亀型ざる

大 2,680円(税込)
特大 2,980円(税込)



追肥にオススメ
肥料の溶けが早い

S604

10kg 1,600円(税込)
20kg 2,670円(税込)



たまねぎのべと病
予防に...

ダコニール 1000

250ml 1,120円(税込)
500ml 2,190円(税込)



たまねぎのべと病
予防・治療に...

フロポーズ顆粒水和剤

100g 820円(税込)
500g 3,770円(税込)



2月末までの特売商品です!

皆さまのご来店心よりお待ちしております。

JAしまね益田グリーンセンター

Tel:0856-23-0908 益田市中吉田町1003-1



平成29年産米集荷速報

平成29年12月18日現在

(単位:30kg/袋)

地区名	益田市			津和野町		吉賀町		JA計	
	益田	美都	匹見	津和野	日原	柿木	六日市		
出荷予約数量	33,096	5,831	9,419	32,146	3,347	4,359	14,812	103,010	
集荷数量	29,269	4,540	8,739	24,600	2,134	1,802	9,394	80,478	
CE荷受重量集荷数量内数	0	0	0	0	0	0	0	0	
加工米						10	1,551	1,561	
集荷数量(合計)	29,269	4,540	8,739	24,600	2,134	1,812	10,945	82,039	
集荷率	29年産	88.4%	77.9%	92.8%	76.5%	63.8%	41.6%	73.9%	79.6%
	28年産	92.0%	85.9%	95.3%	92.5%	92.8%	85.9%	85.5%	90.9%
1等米比率 (全品種)	29年産	64.9%	73.8%	82.0%	89.4%	56.1%	60.2%	86.0%	76.9%
	28年産	70.9%	82.4%	76.5%	85.8%	87.3%	87.9%	83.2%	79.4%
コシヒカリ 1等米比率	29年産	56.0%	69.2%	86.9%	89.6%	48.7%	67.4%	89.1%	72.5%
	28年産	66.1%	74.9%	82.5%	85.8%	91.1%	86.8%	88.8%	77.9%
ヘルシー米 1等米比率	29年産	79.4%	84.6%	89.6%	92.5%	100.0%	0.0%	73.5%	88.9%
	28年産	65.4%	88.9%	84.3%	86.1%	100.0%	0.0%	92.7%	85.4%
ハナエチゼン 1等米比率	29年産	81.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	87.1%
	28年産	97.5%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.9%
きぬむすめ 1等米比率	29年産	89.5%	67.9%	93.2%	89.1%	74.0%	37.6%	93.9%	88.1%
	28年産	87.6%	69.3%	79.2%	92.7%	78.5%	75.0%	88.7%	86.6%
つや姫 1等米比率	29年産	64.1%	73.4%	100.0%	92.1%	35.9%	51.2%	88.8%	75.5%
	28年産	71.2%	90.8%	73.8%	81.6%	89.3%	91.4%	100.0%	80.1%
カントリー未計上	加工用米1,561袋								

【農産物検査員コメント】

コシヒカリについては、夏場の高温により心白粒の発生が見られる。

収穫に向けて早めに（8月上旬）水を落としているところが、適期の刈取り時期であっても乳白粒等の発生が見られた。

刈取適期が、平年に比べ5日程度早い為刈遅れが発生しその他未熟粒で等級が落ちた。

平成27年産米の最終精算について

平成27年産米の最終精算金が確定致しましたので、精算結果についてお知らせします。

なお、精算金につきましては出荷頂きました全品種について、平成29年12月15日に振込みをしております。

平成27年産米の主な品種最終精算金額一覧表 (単位:円、30kg当り)

品 種	等級	概算金単価 (A)	最終精算金単価 (B)	最終単価 (A+B)
コシヒカリ	1	5,250	635.28	5,885.28
コシヒカリ(ヘルシー)	1	5,500	634.18	6,134.18
つや姫(特別栽培)	1	5,500	640.35	6,140.35
ハナエチゼン	1	4,500	640.30	5,140.30
きぬむすめ	1	4,800	639.17	5,439.17
ミコトモチ	1	5,900	635.86	6,535.86
CEコシヒカリ	1	5,250	927.23	6,177.23

・今回振り込みをした精算金単価は (B) 欄をご覧ください。

・品種別・等級別に精算金額が違います。詳しくは個別にお届けする「精算通知書」をご覧ください。

期限切れ廃棄農薬回収のご案内

回収実施日 平成30年**2月7日(水)**

回収時間 **午前9:00~11:00**

●回収対象農薬

- 毒・劇物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- 一般物／粉剤・粒剤・水和剤・液剤
- くん蒸剤・くん煙剤
- 空ビン・空容器等



●回収指定場所

益田市	J A 営農指導センター
	J A 美都支店
	J A 匹見支店
津和野町	J A 津和野経済センター
	J A 日原支店
吉賀町	J A 柿木支店
	J A 六日市支店

期限切れ廃棄農薬の分別方法

- 毒・劇物**
- ・粉剤
 - ・粒剤
 - ・水和剤

- 一般物**
- ・粉剤
 - ・粒剤
 - ・水和剤

- 毒・劇物**
- ・液剤

- 一般物**
- ・液剤

- くん蒸剤**
くん煙剤

- 不明物**

空容器

- ・プラスチック容器
- ・ガラス空ビン
- ・くん蒸・煙空缶
- ・ポリ缶
- ・ブリキー斗缶

必ず上記のように分別して、それぞれダンボール箱に入れて下さい。
ダンボール箱には、分別名と氏名を記入して下さい。

処理経費は1kgあたり432円(税込)の予定です。
回収日の回収時間以外は引き取りはいたしません。

※委任状を書いていただきますので、必ず印鑑(引落しを行う通帳のもの)をご持参下さい。

お問合せ先/JAしまね西いわみ地区本部 営農経済部 経済課 0856-23-0933

農業資金 説明会

を開催
します

農業に関する設備投資、運転資金、また現在ご利用されている資金の内容等、農業に関する資金の説明会を右記の3会場を実施致しますので、お気軽にご来場下さいますようお願い致します。

説明会終了後には個別相談を行いますので、ご希望の方は事前に、下記までご連絡をお願い致します。

益会 市場	とき	平成30年 2月14日(水) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	ところ	J A しまね 西いわみ地区本部 3階会議室
津和野町 会	とき	平成30年 2月15日(木) 10:00~11:30 資金説明 11:30~12:00 個別相談
	ところ	J A しまね 津和野支店 経済センター 2階会議室
吉会 町場	とき	平成30年 2月15日(木) 14:00~15:30 資金説明 15:30~16:00 個別相談
	ところ	J A しまね 六日市支店 2階会議室

個別相談の連絡先 ■ J A しまね 西いわみ地区本部 金融部 融資審査課 0856-22-1590 または、お近くの支店まで



J A女子大学第2回カリキュラム

『ヨガ体験教室』聴講生募集

場 所：JAしまね西いわみ地区本部3階会議室（益田市駅前町15-1）

募集資格：JAしまね西いわみ地区本部管内在住の

概ね20歳代～40歳代の女性

（心は20歳代よという50歳代以上の女性の方も受付ます）

参加費（聴講料）：1名1,000円

持参品：バスタオル1枚

募集人数：10名（定員になり次第締め切ります）

申込締切：平成30年1月26日（金）

申込方法：下記連絡先まで電話あるいはメールにて受付

平成30年
2/6
火

10:00～11:30



当日は動きやすい服装でお越しください。

連絡先

JAしまね西いわみ地区本部企画管理部ふれあい課 担当・中谷
E-mail: fureai.niw@ja-shimane.gr.jp

TEL (0856) 22-1585

2月の無料年金相談会～お気軽にご相談を～

年金定期便、年金手帳、印鑑、裁定請求書、年金証書等をご持参いただきますと、より具体的な相談ができます。はじめての方や、現在受けている年金に疑問をお持ちの方もお気軽に相談でき、秘密は固く守られます。どうぞ、お近くの会場にお越しください。

☆西いわみ地区本部金融部年金相談センター☆
(0856-22-8680) は、
平日 (8:30～17:00) いつでも
ご相談いただけます。

2月の年金相談会

15日(木)	日原支店	午後2時～午後6時	野村社会保険労務士
22日(木)	西益田支店	午後2時～午後6時	J A 年金相談員

※日程・社会保険労務士は変更になる場合があります。

川柳「寒」の投稿数 津和野町17通、吉賀町3通、益田市15通

- | | |
|--|---|
| 寒い朝 曾孫誕生 メール来る
身にしみる 寒さも一段 師走風
寒さ耐え 風にも負けぬ 山茶花の花
床間の 一輪挿しに 寒つばき
友と会い、寒いですねと 相言葉
髪を切り ふところまでも 寒くなり
老寒し ぐずぐず長引く 朝寝かな
おお寒い 笑顔かがやく やぶこうじ
寒い朝 はぐれからすが 今日もなく
寒き日は 鍋を囲んで だんを取る
寒風に 枯れ葉散る、 あざやかに
日々事に 寒さが募る 年は老ゆ
寒気団 むらさき艶花 高ダリヤ
八十路すぎ 寒さひとしを 厚着かな
ふところは 年がら年中 寒の入り
寒風で 甘い干し柿 出来ました
寒い朝 あああの唄に 蘇る
出るばかり ふところ寒し 年の暮れ | (吉賀町) 前川 信子さん
(吉賀町) 三浦知恵美さん
(津和野町) 渡辺サツ子さん
(津和野町) 大羽 克己さん
(津和野町) 板蔭 静代さん
(津和野町) 大井 守さん
(津和野町) 日熊カメ子さん
(津和野町) 三宅 晴子さん
(津和野町) 大庭 定さん
(津和野町) 岩本恵美子さん
(津和野町) 豊田 往野さん
(益田市) 村上登美子さん
(益田市) 高谷喜里栄さん
(益田市) 小笠原かよみさん
(益田市) 村上添美子さん
(益田市) 加治イトヨさん
(益田市) 小笠原かよみさん
(益田市) 岡崎千代子さん
(益田市) 芝田 淳子さん
(益田市) 木川 順子さん |
|--|---|

お題「寒」



3月のお題は「思い出」です
応募お待ちしております



にしいわみひろば

川柳 応募方法

●葉書に 川柳、住所、氏名、電話番号をご記入ください。 ●締切 平成30年2月14日（当日消印有効）
●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画管理部 ふれあい課



益田税務署からのお知らせ

税務署の申告会場は2月16日（金）から開設します！

申告会場の受付時間は午後4時までです

申告と納税は期限内に！

所得税及び復興特別所得税・贈与税の申告・納税は
3月15日（木）まで

個人事業者の消費税及び地方消費税の申告・納税は
4月2日（月）まで

便利で確実な振替納税をご利用ください

【平成29年分の振替日】

【所得税及び復興特別所得税】
4月20日（金）

【消費税及び地方消費税】
4月25日（水）

確定申告 申告書の作成は国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」が便利！

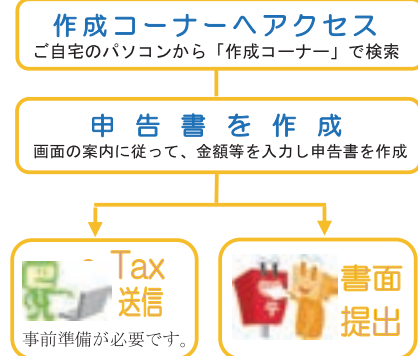
◆ 画面の案内に従って金額等を入力することにより、確定申告書等を作成することができます。なお、作成したデータは「e-Tax（電子申告）」を利用して提出できます。また、印刷して税務署へ郵送等により提出することもできます。

「確定申告書等作成コーナー」のメリット

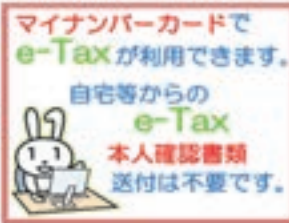
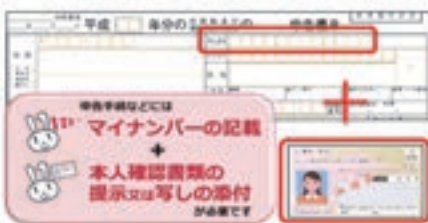
- ① 税務署に出向く必要なし！
- ② いつでも利用可能！
- ③ 自動で税額を計算！
- ④ プリントサービスにも対応！

e-Tax・作成コーナー ヘルプデスク ☎ 0570-01-5901
月～金：9:00～20:00

申告書作成から提出までの流れ



申告書には
マイナンバーの記載が必要です！



マイナンバー総合フリーダイヤル ☎ 0120-95-0178
月～金（9:30～20:00）
土日祝（9:30～17:30）

国税に関するマイナンバー情報
国税庁ホームページトップページ上段の「各種手続き（マイナンバー）」からマイナンバー情報
※右記コードのURLは今後変更する場合があります。



医療費控除は 領収書が提出不要となりました

平成29年分の確定申告から、領収書の提出の代わりに
“医療費控除の明細書”の添付が必要となりました。

- ※ 医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります（税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません）。
 - ※ 医療保険者から交付を受けた医療費通知を添付すると、明細の記入を省略できます（医療費通知とは、健康保険組合等が発行する「医療費のお知らせ」などです）。
- （注）平成29年分から平成31年分までの確定申告については、医療費の領収書の添付又は提示によることもできます。

年金所得者の方へ

公的年金等の収入金額が400万円以下で、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の各種の所得金額が20万円以下である場合には、**確定申告の必要はありません。**

- ※ 所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、所得税及び復興特別所得税の還付を受けるためには、確定申告書を提出する必要があります。
- ※ 所得税及び復興特別所得税の確定申告が必要ない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

申告手続などにはマイナンバーの入力と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。ただし、e-Taxで送信すれば本人確認書類の提示等は不要です。

詳しい情報は国税庁ホームページへ **国 税 庁** で **検索**

※ 税務署へ来署される皆様へ
税務署の駐車場は駐車スペースが少なく、申告期間中は混雑が予想されますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

問い合わせ先／益田税務署 TEL (0856) 22-0444

タテのカギ

- ⑧友人の結婚をみんなで——した
- ⑨魚の下ごしらえの際に取ることも
- ⑩将棋に似た西洋のゲーム
- ⑪五輪で1位の選手がもらうメダルの色
- ⑫温めた豆乳から引き上げます
- ⑬アルバイトの面接を受ける際、書いて持っていくことも
- ⑭ドストエフスキーの著書『——と罰』
- ⑮寒い日にはポツと赤くなる人も
- ⑯ボルトと組み合わせて使います
- ⑰セーフの対義語
- ⑱模試では合格の——が80%だった

ヨコのカギ

- ①2018年の——五輪は平昌で行われます
- ②力士が踏むもの
- ③ツルのものは長く、カモのものは平たい
- ④尺八やフルートはこの仲間
- ⑤医師に処方してもらうもの一つ
- ⑦ずいぶんと——が飛躍しているなあ
- ⑩銀世界を眺めて楽しむこと
- ⑫日本——が寒波に覆われた
- ⑬スマホで明日の天気——を調べた
- ⑭漢字で書くと最中。あんの入った和菓子です
- ⑰桃太郎の場合は犬・猿・キジ
- ⑱鬼の頭に生えています
- ⑳バレンタインの本命チョコに込めます

二重マスの文字を A ~ E の順に並べてできる言葉は何でしょうか？

1	6	9		14	18	21
		E				
	7		11		19	
						C
2			12	15		
			10			
						B
3	8				20	
4			13	16		
5				17		D

答え
A B C D E

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で地区本部毎に5名の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒698-0024 益田市駅前町15-1
JAしまね 西いわみ地区本部 ふれあい課 「クイズ」係
平成30年2月5日(月)(当日消印有効)

◆先月号の答え◆ 「クブクロ」

ナ	ク	サ	フ	シ
マ	ス	イ	ハ	ン
エ	ト	ド	ン	シ
ホ	シ	ブ	ド	ウ
マ	オ	レ	エ	ミ
ス	ト	リ	ト	ゾ
イ	ロ	キ	ク	ズ

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはありません。

健康散歩 JA島根厚生連

正しい手洗い 出来ていますか？

風邪やインフルエンザを予防しますが、手洗いをしっかりと

- ①まず、腕時計やアクセサリーなどは外しましょう。
- ②流水で手を洗い、石けんを適量手に取って両手でよく泡立てます。
- ③手のひら全体をこすり合わせ、泡を伸ばします。
- ④手の甲をもう片方の手のひらで、こするようにして洗います。
- ⑤両手の指と指を組むようにして、指の間をもみ洗います。
- ⑥親指をもう片方の手のひらで包み込み、軽く回転させて洗います。
- ⑦指先で、もう片方の手のひらを引っ掻くように動かして洗います。
- ⑧手を反対の手のひらで軽く握り、回転させて洗います。
- ⑨15秒程度流水で、泡を完全に洗い流します。
- ⑩最後に、清潔なタオルやペーパータオルなどで水分をよく拭き取り、しっかりと乾かしましょう。

★★手洗いをするとき、次の手順でしっかりと洗うようにしましょう★★

風邪やインフルエンザの予防のために、帰宅時や食事の前など手洗いをすることが習慣になっている方も多いと思いますが、なぜか毎年、風邪やインフルエンザは流行ってしまいますよね。風邪やインフルエンザなど、病気を引き起こす感染症の多くは、「手」を介して体内に侵入することが多いと言われています。洗い残しのないような手洗い、みなさんは出来ていますか？

普段、私たちが触れるドアノブや手すりなど様々な場所に、目には見えない細菌やウイルスなどが付着しています。そういった場所を触った手で、自分の眼や鼻、口を触ったりすることで体内に侵入し、それが感染拡大のきっかけとなるのです。様々な感染症から身を守るためには、手からの侵入を遮断する「手洗い」がとても大切になります。

得々プラン

やっぱり玉泉

2018.1/4(木)~3/16(金) 除外日:土曜日、休前日

2名様~14名様 限定

1日5組 限定

お1人様/1泊2食付 一室3名様~

お1人様/1泊2食付 一室2名様

12,000円(税込)

14,000円(税込)

●夕食会場の個室指定は、1名様1,080円(税込)増し
●ご宿泊前日迄お受けいたします

さらにもう一品

得々プラン 限定 別注料理

※事前お申込み専用別注料理でございます。ご予約時にお申し付け下さい。

通常価格/ スワイ蟹一杯 3,780円
しまね和牛ステーキ(100g) 3,240円

それぞれ 特別価格 1,080円(税込)

ズワイ蟹一杯

しまね和牛ステーキ(100g)

お申し込みはお近くの【JAしまね】旅行センターへ

旅行センター本部 出雲市斐川町直江5030番地	0853-25-8907	斐川旅行センター 出雲市斐川町莊原2172番地3	0853-73-9625
くにびき旅行センター 松江市西川津町1635番地1	0852-55-3041	石見銀山旅行センター 大田市長久町長久ハ56番地1	0854-82-3501
やすぎ旅行センター 安来市下坂田町1075番地1	0854-28-6699	島根おおち旅行センター 邑智郡邑南町下田所277番地	0855-83-0008
雲南旅行センター 雲南市木次町里方1088番地6	0854-42-9118	いわみ中央旅行センター 浜田市黒川町3741番地	0855-22-8820
出雲旅行センター 出雲市今市町87番地	0853-21-3305	西いわみ旅行センター 益田市駅前町15番地1	0856-22-8587

●表記料金は消費税込・入湯税別途150円かかります。
●お部屋のタイプと、ご夕食会場はホテル側おまかせとなります。

曲水の庭

ホテル 玉泉

出雲・玉造温泉
政府登録国際観光旅館(登録第880号)
島根県松江市玉湯町玉造 53-2

TEL.0852-62-0021(代)
http://www.hotel-gyokusen.co.jp

電話受付時間 平日 9:00~19:00
土日祝 10:00~19:00

国民年金の第1号被保険者の皆様へ 国民年金基金に入りませんか!



国民年金基金とは

老後に受け取れる国民年金(老齢基礎年金)はご夫婦で月に約13万円。

しかし、高齢者世帯は、月約27万円かかると言われています。

この不足分を補うものとして、サラリーマンなどの人(第2号被保険者)には厚生年金がプラスされますが、自営業などの人(第1号被保険者)はご自身で上乗せしなければいけません。そこで、用意されている公的な個人年金が国民年金基金です。

加入できる人は?

20歳以上60歳未満の国民年金保険料を納付している国民年金の第1号被保険者の方および日本国内に住所を有する60歳以上65歳未満で国民年金に任意加入している方が加入できます。

年金の給付は?

年金額の加入口数、年金受取期間は給付の型によって決まります。

毎月の掛金は?

掛金は加入時の年齢、性別、選択する給付の型と口数によって決まります。

問い合わせ先

島根県国民年金基金

0120-654192

〒690-0887 松江市殿町8番地3 島根県市町村振興センター5階 <http://kokuki-shimane.or.jp/>

ごまめのマリネ



お正月のごまめアレンジです。ごまめが、子ども大人も好きなマリネになります。沢山の野菜も一緒に食べられるおいしいマリネです。食材はすべてサツと揚げるのがポイントです。

●材料 (4人分)

ごまめ……………	30g	酢……………	大さじ4
〔玉葱……………	1/2個	砂糖……………	大さじ2
塩……………	小さじ1/3	塩……………	小さじ1
きゅうり……………	1/2本	オリーブ油……………	大さじ2
さつま芋……………	小1個		

●作り方

- ①玉葱は塩をふって2～3分おき、水に3分ぐらいつけて流水で洗い水気を絞る。
- ②バットに酢、砂糖、塩、オリーブ油を入れ混ぜて①を入れる。
- ③さつま芋は細切りにし、水にさらしてアクをとり、ザルにあげ水気をふき取る。
- ④油を180℃に熱し、ごまめをさつと素揚げし、さつま芋を素揚げし熱いうちに②に浸けて味をなじませる。
- ⑤千切りきゅうりを混ぜる。

余ってる黒豆の煮物を使い

赤ワインで黒豆のおこわ



お正月に沢山煮た黒豆を使い作るおこわです。甘い煮豆を使うのでお砂糖は入れません。沢山食べて今年も「まめ」に過ごしたいですね。

●材料 (4～5人分)

煮豆(黒豆)……………	100g	赤ワイン……………	大さじ4
もち米……………	1合	水……………	赤ワインと合わせて2合
うるち米……………	1合	塩……………	小さじ1/3
しめじ……………	1/4袋		

●作り方

- ①もち米、うるち米は洗い、ざるにあげて1時間おく。
- ②①を炊飯器に入れ、赤ワインと水、塩を入れる。
- ③汁気を切った黒豆の甘煮としめじを入れ普通に炊く。



表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通 (ののむらなおみち) 先生に描いていただいています。

今月の表紙は、雪化粧の松江城。城下町松江のシンボルで、「千鳥城」とも呼ばれています。全国で現存する12天守の一つで、山陰地方で唯一の現存する天守閣であり、平成27年7月に国宝に指定されました。また、城山公園は「日本さくら名所100選」に選ばれており、島根県を代表する観光地の一つとして、全国各地から観光客が訪れています。

組合員・利用者の皆様へ(お詫び)

このたびJAしまねにおいて、臨時職員による給油カードの不正利用がありました。(JA店舗用の給油カードを自分の車のガソリン給油に使用。被害総額65,801円。全額返済済み。) 今後、係る事態を引き起こさないために、なお一層の法令遵守(コンプライアンス)の徹底を図ってまいります。農業協同組合としての果たすべき役割と使命を深く認識し、綱紀粛正を図り、信頼回復に向け役員一丸となり、新たな決意のもと、誠心誠意業務に取り組む所存であります。

平成30年1月
島根県農業協同組合
代表理事組合長 竹下 正幸

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

